

# ナノテクノロジー・材料科学技術に係る主な取組～「素材立国 日本」の再生～

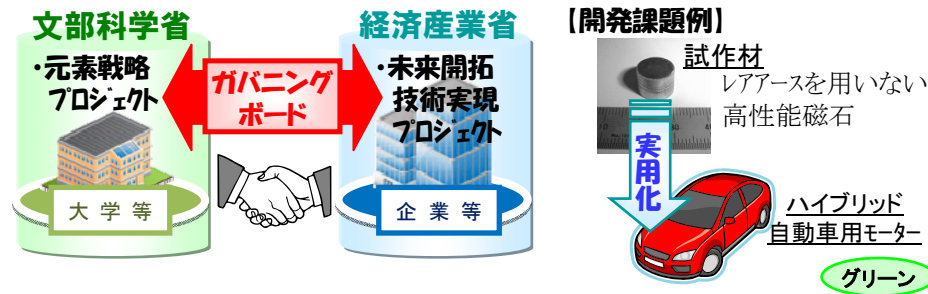
## 背景

- ◆ ナノテク・材料科学技術は、我が国が強みを有する分野として、基幹産業(自動車、エレクトロニクス等)をはじめ、あらゆる産業の技術革新を支える、我が国の成長及び国際競争力の源泉。
- ◆ しかし、近年、先進国に加えて、中国をはじめとする新興国が戦略的な資金投資を行い、国際競争が激化。
- ◆ 世界各国が鎬を削る中、我が国のこれまでの技術的・人的ポテンシャルを最大限に活用し、政府一丸で巻き返しを図る必要。

## ◆ 希少元素を用いない革新的な代替材料の創製

### 元素戦略プロジェクト<研究拠点形成型>(H24年度予算:23億円)

我が国の資源制約を克服し、産業競争力を強化するため、レアアース等の希少元素を用いない革新的な代替材料を創製。



## ◆ 我が国の強みを活かし、「素材立国 日本」を再生

### 東北発 素材技術先導プロジェクト(H24年度予算:15億円)

東北地方の大学や製造業が強みを有するナノテク・材料分野において、産学官協働によるナノテク研究開発拠点を形成。世界最先端の技術を活用した先端材料を開発し、震災からの復興と素材産業の発展を牽引。

復興・再生

### 物質・材料研究機構(H24年度予算:135億円)

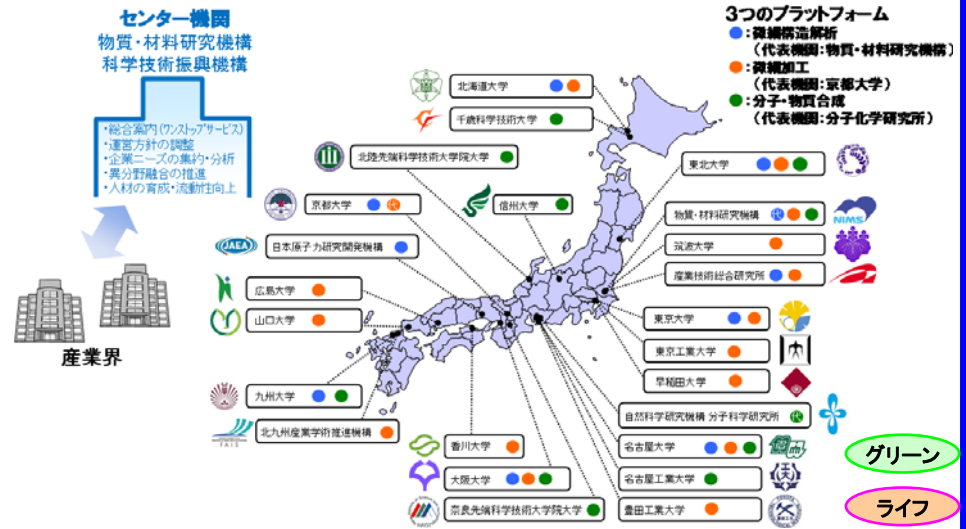
物質・材料分野における世界トップレベルの研究機関として、全国の大学等と緊密に連携しつつ、物質・材料科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発等の業務を総合的に実施。

グリーン

## ◆ 最先端装置の共有化による研究基盤の強化

### ナノテクノロジープラットフォーム(H24年度予算:18億円)

ナノテクノロジーに関する最先端の研究設備とその活用のノウハウを有する機関が協力して、全国的な設備の共用体制を構築するとともに、産学官連携や異分野融合を推進。



## ◆ 地球環境問題の解決に向けた産学官連携モデルの構築

### ナノテクノロジーを活用した環境技術開発(H24年度予算:4億円)

地球環境問題の解決と持続可能社会の構築のため、産学官連携による環境技術の基礎・基盤的な研究開発を推進するための拠点を構築。「つくばイノベーションアリーナ」(TIA)の中核的プロジェクトとして、オープンイノベーションの場を形成(「Under One Roof」)。

グリーン